

令和4年度 福井支部事業報告

基盤的

1. サービス水準の向上

【KPI】 サービススタンダード※の達成状況

令和4年度目標	100%	令和4年度実績	100%	○	令和5年度目標	100%
---------	------	---------	------	---	---------	------

【KPI】 現金給付等の申請に係る郵送化率

令和4年度目標	95.5%	令和4年度実績	94.9%	×	令和5年度目標	96.0%
---------	-------	---------	-------	---	---------	-------

【令和4年度の実施状況】

①現金給付の申請受付から支給までの標準時間（サービススタンダード：10営業日）を遵守するため、毎日進捗を確認。

令和5年1月から、新システムが稼働し自動審査を導入。

傷病手当金の自動審査率（1/17～1/31）3.7%（2/1～2/28）12.8%（3/1～3/31）22.6%

②申請の郵送化を促進するため、郵送手続き案内のトークスクリプトを作成し、全支部体制で電話や窓口相談の際、郵送手続き案内を積極的に実施。

R5.1月…95.6%(対前年度+0.9%) R5.2月…96.3%(対前年度+0.4%) R5.3月…95.6%(対前年度+1.0%)

【令和5年度の具体的施策】

①現金給付の申請受付から支給までの標準時間を遵守するため、引き続き進捗管理を徹底。

電話相談体制を整備し、これまでより迅速な事務処理が出来る新体制を構築。

②電話や窓口相談等で、引き続き郵送による手続き案内を積極的に実施。

*サービススタンダード：現金給付の支給申請の受付から給付金の振込みまでの期間を10営業日以内とする

【KPI】 柔道整復施術療養費の申請に占める施術箇所3部位※以上、かつ月15日以上 of 施術の申請の割合

令和4年度目標

0.53% 以下

令和4年度実績

0.54%

×

令和5年度目標

対前年度以下

【令和4年度の実施状況】

- ①厚生局と連携して不正請求の施術所から療養費（3件：104,300円）を回収。
- ②柔道整復施術受診についての正しい知識の普及を図るため、多部位（施術箇所が3部位以上）や頻回（施術日数が月15日以上）の申請に対し患者照会を実施。

R2年度 申請件数 80,040件（内、患者照会件数 1,883件）

R3年度 申請件数 83,411件（内、患者照会件数 2,117件）

R4年度 申請件数 81,445件（内、患者照会件数 1,883件）

【参考】

福井支部 実績

- ・令和元年度 (0.52%)
- ・令和2年度 (0.58%)
- ・令和3年度 (0.53%)
- ・令和4年度 (0.54%)

【令和5年度の具体的施策】

- ①引き続き厚生局と連携し、不正請求防止に努める。
- ②柔道整復施術受診についての正しい知識の普及を図るため、引き続き多部位（施術箇所が3部位以上）や頻回（施術日数が月15日以上）の申請を中心に患者照会を実施。
療養費の請求内容が作為的、不正又は著しい不当等が疑われる場合は、柔道整復師と面接（面接確認委員会）し、適正な請求に改善するよう指導。

*3部位：1回の申請について施術箇所が3箇所以上

3. 被扶養者資格の再確認の徹底

【KPI】被扶養者資格の確認対象事業所からの確認書の提出率

令和4年度目標	93.4% 以上	令和4年度実績	93.00%	×	令和5年度目標	94.0% 以上
---------	----------	---------	--------	---	---------	----------

【令和4年度の主な取組み】

- ①事業所へ送付した被扶養者資格再確認の案内書類が所在不明で未送達の場合、事業所へ架電調査、年金事務所へ事業所住所の照会により再送付を実施。
- ②事業所から提出されたリスト（被扶養者資格確認リスト）を審査し、記載不備や添付書類漏れ等は速やかに返戻を実施。
- ③リスト未提出の事業所へ提出勧奨を実施。

R5.1電話勧奨	300件
R5.2文書勧奨	1,710件
R5.2電話勧奨	200件
R5.3電話勧奨	200件

【参考】

令和4年度 結果（全国）

- ・被扶養者の削減人数 78,264人
- ・前期高齢者納付金の負担軽減額 約9億円

（福井支部）

- ・送付対象9,175事業所
- 提出事業所 8,531事業所
- ・被扶養者の削減人数 629人

【令和5年度の具体的施策】

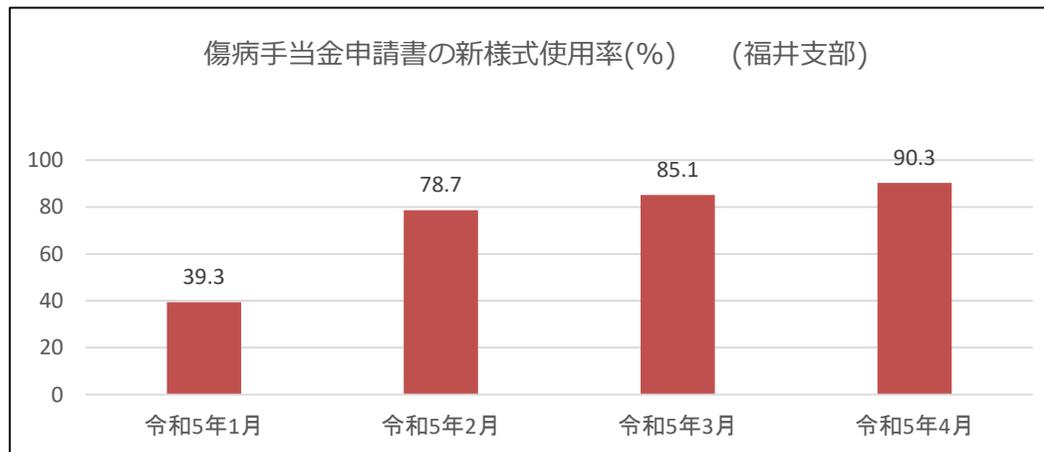
- ① 未送達事業所について、事業所への電話による所在地聴取、年金事務所への事業所所在地の照会により確実な送達を図る。
- ② 被扶養者状況リストの再送付、電話による提出勧奨を実施。

【令和4年度の実施状況】

- ①各種申請・届出の自動審査化に伴い、令和5年1月から各種申請書を新様式に変更するため以下の広報を実施。
 - ・協会けんぽの広報誌やメールマガジン、ホームページに掲載し、加入者や事業所等へ周知。
 - ・医師会、歯科医師会、薬剤師会、経済団体、年金事務所へ訪問して周知を依頼。
(福井県医師会の会報誌掲載、福井商工会議所の会報誌掲載、福井県中小企業団体中央会のメールマガジン掲載、各団体の窓口にチラシ設置)
 - ・医療機関と事業所へ文書送付や訪問により、様式切り替えの協力依頼を実施。
 - ・社会保険労務士と健康保険委員に向けて新様式の記入方法等について、オンライン研修会を開催。

【令和5年度の具体的施策】

- ①新業務システム（自動審査）の効果を最大限にするため、新様式への切替率が100%となるよう広報誌やメールマガジンによる広報を実施。旧様式による申請が継続している申請者には、新様式への切替を個別にアプローチする。
- ②社会保険労務士会との連携会議や社会保険事務講習会等にて、申請書の記入誤りが多い事例を紹介し、記入誤りや記入不備による自動審査の停止を減少させ、迅速な給付金の支払いに努める。
- ③加入者からの相談・照会に的確に対応できるよう受電体制を整備し、お客様満足度の向上を図る。



基盤的

4. 効果的なレセプト内容点検の推進

【KPI】 社会保険診療報酬支払基金と合算したレセプト点検の査定率※

令和4年度目標	0.320% 以上	令和4年度実績	0.320%	○	令和5年度目標	対前年度以上
---------	-----------	---------	--------	---	---------	--------

【KPI】 協会けんぽの再審査レセプト1件当たりの査定額

令和4年度目標	5,521円 以上	令和4年度実績	6,644円	○	令和5年度目標	対前年度以上
---------	-----------	---------	--------	---	---------	--------

【令和4年度の実施状況】

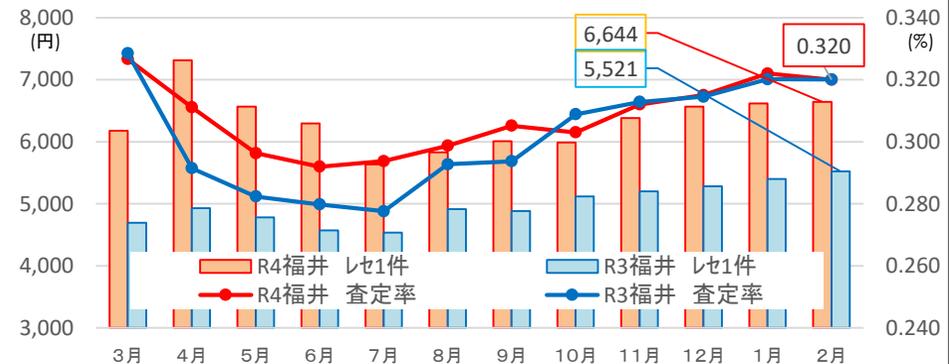
① 支部内勉強会・外部講師研修・他支部との合同勉強会へ参加

② 高点数レセプトを中心に効果的かつ効率的な審査を実施
査定率

令和4年度 0.320% 前年度と同率

1件当たりの査定額

令和4年度 6,644円 前年度より1,123円増



【令和5年度の具体的施策】

① 支部内勉強会及び外部講師研修を実施し、他支部との合同勉強会等に参加することで質的向上を図る。

② 引続き高点数レセプトを中心に効率的な審査を実施し、査定率及びレセプト1件当たりの査定額の向上に取り組む。

*査定率：医療費総額に対するレセプト点検効果額の割合

基盤的

5-1. 返納金債権発生防止のための保険証回収強化

【KPI】 日本年金機構回収分も含めた資格喪失後1か月以内の保険証回収率

令和4年度目標

90.38% 以上

令和4年度実績

91.84%



令和5年度目標

対前年度以上

【令和4年度の実施状況】

前年度より1.46 %増

①本人への電話催告及び文書催告の実施

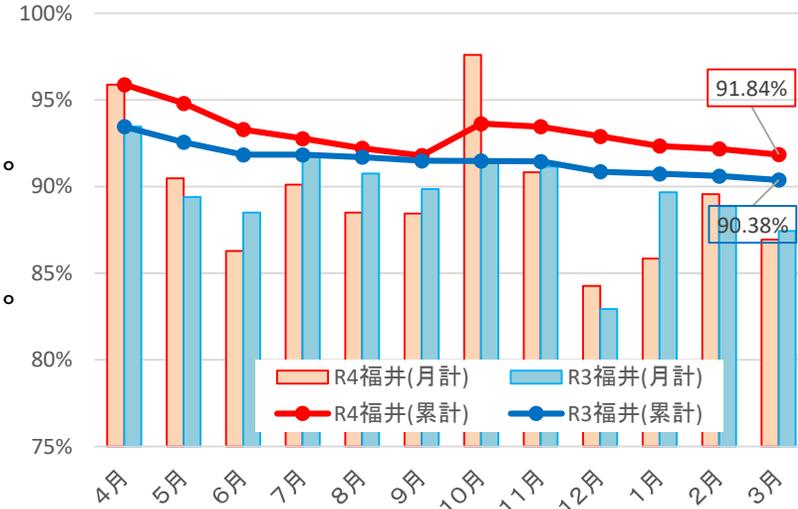
架電数116件。電話聴取の結果では「事業所へ返却済み」回答が多い。

②本部データ(年2回)による事業所への文書催告の実施

発送数249件。未回収者の氏名が無く、事業主・担当者の反応が弱い。

③支部データ(月2回)による事業所への文書催告の実施

発送数94件。17件返却。



【令和5年度の具体的施策】

①本人への電話催告及び文書催告の実施。

②本部データによる事業所への文書催告の実施。

③支部データ(当月)による事業所への文書催告。

基盤的

5-2. 債権管理回収業務の推進

【KPI】 返納金債権(資格喪失後受診に係るものに限る。)の回収率

令和4年度目標

32.62% 以上

令和4年度実績

67.60%



令和5年度目標

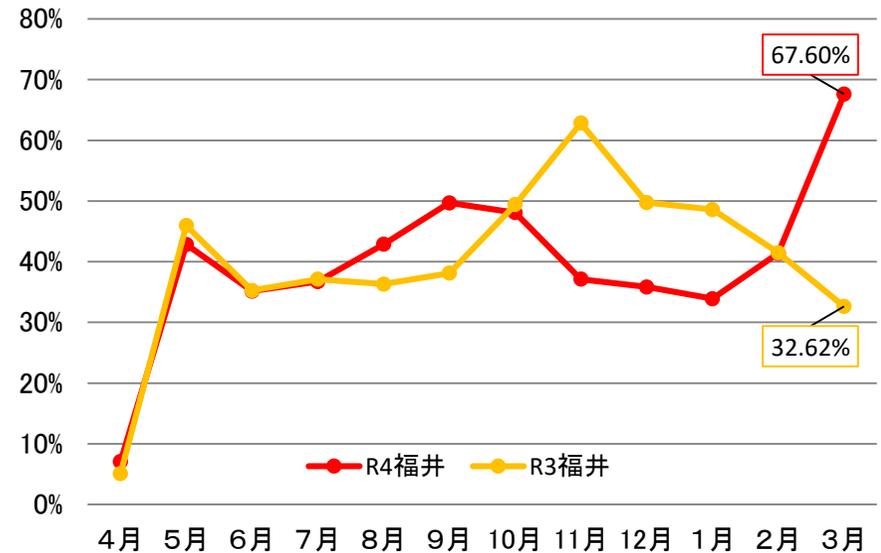
対前年度以上

【令和4年度の実施状況】

発生件数 1,006件 発生額 32,451,405円
 回収件数 752件 回収額 21,936,320円
 未回収件数 254件 未回収額 10,515,085円

- ①保険者間調整による回収
 令和4年度 151件 前年度より49件増
 資格喪失後の国保加入者に対し積極的に案内を実施
- ②法的手続の実施
 5件。現年度または高額債権を優先的に実施
- ③納付困難者への対応
 分割納付協議4名

※保険証の適正使用について意識の啓発を図るため、
 ポスターを令和4年6月より配布
 ・健康保険委員3,082枚 新規適用事業所562枚



【令和5年度の具体的施策】

- ①保険者間調整
 債務者の負担を軽くし、確実な債権回収を保険者間調整で実行する。
- ②法的手続
 納付拒否者に対しては、弁護士催告・最終催告・支払督促を実施し回収に努める。

戦略的

6. 特定健診受診率・事業者健診データ取得率等の向上

【KPI】生活習慣病予防健診受診率	令和4年度目標	65.7%以上	令和4年度実績	68.0%	○	令和5年度目標	67.5%以上
【KPI】事業者健診データ取得率	令和4年度目標	13.1%以上	令和4年度実績	11.2%	×	令和5年度目標	13.4%以上
【KPI】被扶養者特定健診受診率	令和4年度目標	25.9%以上	令和4年度実績	25.6%	×	令和5年度目標	29.8%以上

【令和4年度の実施状況】

健診名（40才以上）	実施人数	主な取り組み
生活習慣病予防健診	81,697名	①10,570事業所へ巡回健診案内送付 ②新規健診機関と契約（2機関）
事業者健診データ取得	13,230名	③協会けんぽ、福井労働局、福井県の三者連名による事業者健診データ提供勧奨 ④外部委託を活用し105件同意書取得
被扶養者特定健診	6,362名	⑤福井支部主催の無料オプション付集団健診を実施
合計	101,289名	

【令和5年度の具体的施策】

- ①生活習慣病予防健診の一般健診の自己負担額軽減（7,169円→5,282円）について周知広報
- ②健診機関の拡大に向けた県内医療機関へのアンケート送付、訪問説明等による働きかけ
- ③外部委託を活用した事業者健診データ取得
新規同意書等取得業務、健診結果の取得及びデータ化
- ④被扶養者の無料オプション付集団健診の実施
実施日数の拡大、興味を引く無料オプションの追加、利便性の良い会場設定等
- ⑤被扶養者の特定健診とがん検診の同時実施推進
特定健診と市町がん検診が同時に受けられる集団健診会場の周知広報

戦略的 7. 特定保健指導の実施率及び質の向上

【KPI】 被保険者の特定保健指導実施率

令和4年度目標	32.4% 以上	令和4年度実績	22.8%	×	令和5年度目標	38.1% 以上
---------	----------	---------	-------	---	---------	----------

【KPI】 被扶養者の特定保健指導実施率

令和4年度目標	22.5% 以上	令和4年度実績	44.7%	○	令和5年度目標	22.5% 以上
---------	----------	---------	-------	---	---------	----------

【令和4年度の実施状況】

加入者区分	実施人数	主な取り組み
被保険者	3,880名	①対象者全員案内に向けて案内送付方法等の変更 ②大規模事業所へ訪問による利用勧奨（33事業所） ③健診当日特定保健指導実施に向けた働きかけ
被扶養者	126名	④集団健診時の特定保健指導実施
合計	4,006名	

【令和5年度の具体的施策】

- ①実施率への影響が大きいと見込まれる事業所管理者への特定保健指導受入勧奨
- ②健診と特定保健指導の一体化の推進
 - ・健診当日実施に向けた事業所及び健診機関への働きかけ
 - ・健診当日実施するための人員が確保できない健診機関への介入(福井支部が契約した専門機関による遠隔指導の実施)
- ③集団健診時の健診当日特定保健指導の推進

戦略的 8. 重症化予防対策の推進

【KPI】 受診勧奨後 3 か月以内に医療機関を受診した者の割合

令和4年度目標	14.5% 以上	令和4年度実績	13.2%	×	令和5年度目標	13.1% 以上
---------	----------	---------	-------	---	---------	----------

【令和4年度の実施状況】

勧奨	一次勧奨数	二次勧奨数	主な取り組み
血圧 血糖 LDLコレステロール <small>(※令和4年度のKPIに反映しない)</small>	3,571件	3,211件	①健診の結果、医療機関への受診が必要な方への確実な受診勧奨 ②本部が実施した一次勧奨に反応がない者に対し「かかりつけ医紹介はがき」を同封した二次勧奨文書を事業所経由により送付。併せて対象者がいる事業所に対してもポスターを送付し、重症化予防を啓発 ③県医師会と連携した「福井県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」事業の実施 ・医療機関への受診勧奨 未受診者 425名、治療中断者 133名 ⇒ 51名情報提供書受理 ・かかりつけ医と連携した保健指導参加勧奨 201名 ⇒ 7名保健指導実施

【令和5年度の具体的施策】

- ①未治療者に対する文書・電話・訪問等による受診勧奨の確実な実施
- ②「福井県糖尿病性腎症重症化予防プログラム」事業の継続
 加入者の生活の質の維持及び人工透析への移行を防止するための保健指導の実施

9. 喫煙者対策

【令和4年度の実施状況】

喫煙者に対し禁煙外来等の情報を提供し、禁煙に対する動機付けを高める。

- ①メタボリスクのある喫煙者6,763名に対し、禁煙外来などの情報チラシを送付
- ②国立がんセンターが1事業所に対して実施した禁煙サポートに参加（3名が禁煙した）

【令和5年度の具体的施策】

関係団体と連携し、喫煙者に対し講習会や広報物の提供等により、禁煙に向けた支援を行う。

※道路貨物運送業への禁煙サポート



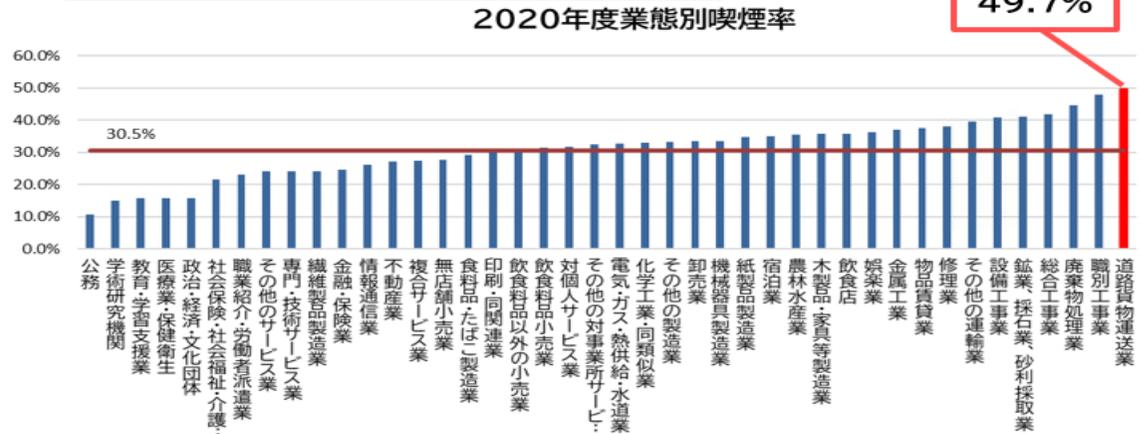
福井県トラック協会 × 福井運輸支局 × 福井県 × 協会けんぽ
健康面での事故防止策は十分ですか？
禁煙事業 はじめます

～事業の流れ～



運輸業における喫煙状況

(全国) 生活習慣病予防健診の問診票より集計



道路貨物運送業の喫煙率が極めて高く、運輸業に属する福井県トラック・バス・タクシー協会ごとに喫煙率をみると、トラック協会が突出して高い。

福井県トラック協会… **43.1%**

福井県バス協会… 34.0%

福井県タクシー協会… 39.4%

※2021年 各協会会員事業所の健診結果（問診喫煙率）データから

戦略的

10. 広報活動や健康保険委員を通じた加入者等の理解促進

【KPI】 全被保険者数に占める健康保険委員が委嘱されている事業所の被保険者数の割合（被保険者カバー率）

令和4年度目標

65.8% 以上

令和4年度実績

71.4%



令和5年度目標

68.9% 以上
→74%以上へ

【令和4年度の実施状況】

健康保険委員の委嘱拡大 新規委嘱601名（3,535名（R5.3.31現在））

- ① 被保険者4名以上の事業所へ文書等による委嘱勧奨
- ② 健康づくり宣言との同時委嘱勧奨
- ③ 新規適用事業所への委嘱勧奨

広報活動

- ① メルマガ登録者拡大 新規登録229名（6/12配信 3,144件）
- ② イベント情報等報道関係者へのプレスリリース 10件
- ③ マスメディアを活用した広報(福井新聞「健康経営キャンペーン」、

ハピリンビジョン「インセンティブ制度のご紹介」)

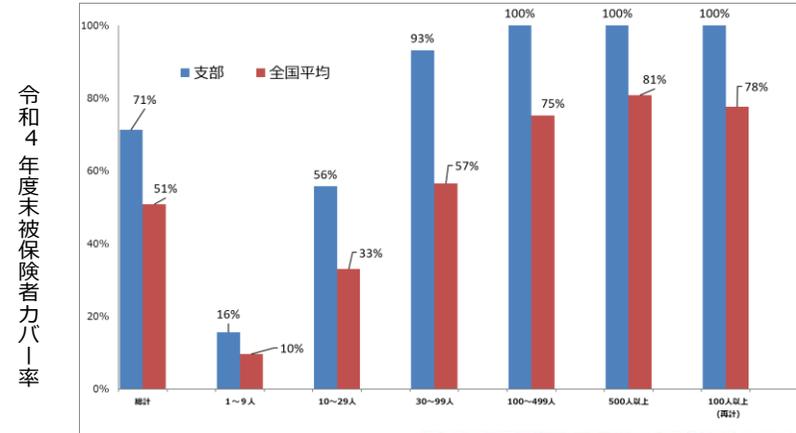
【令和5年度の具体的施策】

健康保険委員の委嘱拡大及び活動の活性化

- ① 被保険者3名以上の事業所へ文書、電話による委嘱勧奨
- ② 訴求力を意識した案内文書の作成及び委嘱勧奨の実施
- ③ 健康保険委員向けの研修会や広報誌等を通じた情報提供

広報活動

- ① 全支部共通広報資材（動画、パンフレット等）の積極的な活用
- ② メルマガやホームページの充実（加入者への行動変容につながるタイムリーな健康情報を発信）
- ③ マスメディアを活用した包括的広報（プレスリリース、新聞掲載、TVCM,インターネットCM,タウン誌等）



戦略的 11. コラボヘルスの推進

【KPI】健康宣言事業所数

令和4年度目標	1,280件以上	令和4年度実績	1,297件※ (1,041件)	○	令和5年度目標	1,080件以上※ →1,190件以上
---------	----------	---------	---------------------	---	---------	------------------------

【令和4年度の実施状況】

- 「健康づくり宣言」事業所の拡大 令和4年度宣言事業所数 246件
- 事業所カルテによる情報提供 約2,000件送付

※健康宣言内容の標準化が図られることとなり、1,297件中、標準化された基本モデルに沿った健康づくり宣言が既になされている事業所は1,041事業所であった。

健康づくり 取組内容

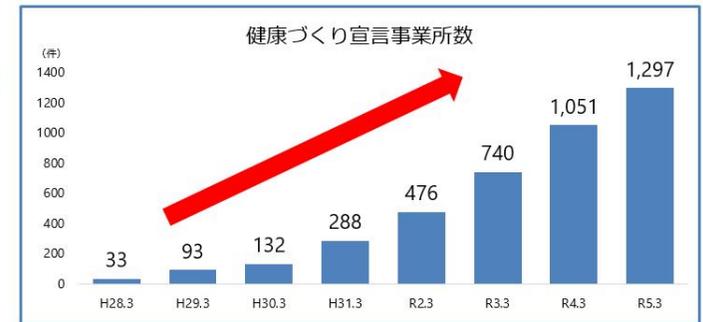
健康診断受診 100% 特定保健指導利用 100% 再検査・要治療者への受診勧奨

最初は右の5つのテーマから1つ選び、はじめてみましょう!

事業所内での健康づくりの推進

- 食生活
- お酒
- 運動
- メンタルヘルス
- たばこ

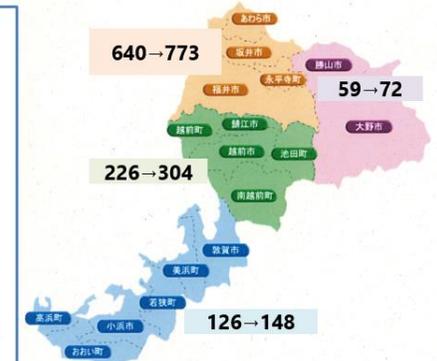
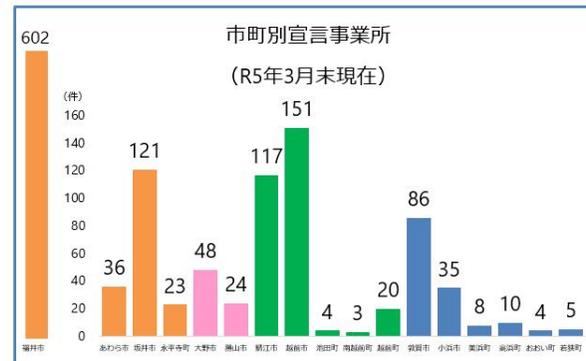
事業所の健康課題はなんですか? 課題を見つけて取り組むととても効果的です!



【令和5年度の具体的施策】

「健康づくり宣言」事業所の拡大

- 標準化された健康づくり宣言が行われていない256事業所へ文書、電話及び訪問により基本モデルへの宣言内容の更新案内
- 事業所カルテの提供を契機とした文書、電話及び訪問勧奨



戦略的 12. 健康づくり取り組み支援

【令和4年度の実施状況】

① 事業所単位での健康づくり講習会の開催 【 】は目標件数

- ・生活習慣病予防 21社 【25社】
- ・健康運動 24社 【25社】
- ・メンタルヘルス 15社 【15社】
- ・女性の健康課題 9社 【10社】

令和4年度
協会けんぽ講習会
のご案内

全コース無料
健康づくりにお役立ていただける講習会をご用意しております。
従業員の方さまの健康維持・増進にお役立てください。

- 生活習慣病予防コース**
協会けんぽ保健師・管理栄養士
健診結果の見方、メタボ対策、喫煙対策など、生活習慣病予防対策を学びます。
- メンタルヘルスコース**
福井産業保健総合支援センター
心の健康やストレスへの適切な対応方法など、職場におけるメンタルヘルス対策を学びます。
- 女性の健康課題コース**
株式会社トクータラスト
女性の健康課題を男女ともに理解し、働きやすい職場環境についで学びます。
- 健康運動コース**
スポーツクラブ 新田塚アーク
職場で簡単にできる運動・ストレッチ・ラジオ体操などを実践して学びます。
- 歯科講習会**
福井県歯科医師会
歯医者と健康の関係や予防と治療の重要性を学びます。
【特典】
① 歯周病検査で費用を半額！
② 歯周病検査結果が分かる、歯周病予防や治療への理解が深まります。

協会けんぽ講習会の特徴

- ☑ 講習会はずべて無料です！
- ☑ 実習が用意する会場で実施します！
- ☑ 開催日はご都合に合わせて！

※コースによっては、健康診・健康相談・入館に制限があります。詳しくは健康啓蒙のご案内をご覧ください。

【令和4年度の実施状況】

② 生活習慣病予防を目的とした定期的な歯科受診の啓発

- ・事業所歯科健診 9社 【12社】
- ・簡易唾液潜血検査と併せた「歯と歯茎の講習会」 7社 【30社】

事業所歯科健診

- 1 歯科医師が、歯や歯ぐきなど、お口の中の状態をチェックします。
- 2 歯みがきの仕方や歯周病の予防方法、今後の治療などをアドバイスします。
- 3 健診結果を記載した「歯科健診記録票」を、その場でお渡しします。

健診の様子はこちらから！
協会けんぽHP

歯科講習会(歯周病リスク検査付)

- 1 歯科医師が、歯周病と糖尿病の怖い関係性をわかりやすくお伝えします
- 2 二つの病気の悪循環、どう防ぐ？パッチリお答えします。質問も大歓迎！
- 3 「歯周病リスク検査」でご自分が歯周病かどうか、その場で分かります

講習会の様子はこちらから！
今年から検査がグレードアップ！
協会けんぽHP

糖尿病
悪循環！
歯周病

自分でも舌を綿棒でぬぐうだけ3つの病が書きもしているか分かるよ！

・糖尿病治療者への歯科受診勧奨

6月 一次勧奨1,442名→受診者122名 (8.5%)

11月 二次勧奨1,292名→受診者55名 (3.8%)

通算 12.3% 177名/1,442名

【令和5年度の具体的施策】

① 事業所単位での健康づくり講習会の開催 【 】は目標件数

- ・生活習慣病予防 【25社】
- ・健康運動 【25社】
- ・メンタルヘルス 【25社】
- ・歯科講習会 【20社】

② 事業所歯科健診の実施 【12社】

戦略的

12. 健康づくり取り組み支援

【令和4年度の実施状況】

③ スマホアプリ「ほやほやウォーク」による事業所対抗ウォーキングラリーの実施

- ・第2回大会（5月1日～6月30日）61社 288チーム 736名参加 優勝 メイプルケア 有限会社
- ・第3回大会（10月1日～11月30日）52社 311チーム 864名参加 優勝 株式会社 オナガメガネ

【第2回事業所対抗ウォーキングラリー最終結果】
(成績上位事業所)

第1位	メイプルケア 有限会社	平均歩数 1,568,781歩
第2位	株式会社 オナガメガネ	平均歩数 1,034,143歩
第3位	だるまや商事 株式会社	平均歩数 981,590歩
第4位	株式会社 ミヤゲン	平均歩数 909,838歩
第5位	吉岡幸 株式会社	平均歩数 860,247歩 (敬称略)



メイプルケア有限会社の皆さん：左上から みっちさん、まさしさん、すみさん、左下から makikoさん、みほさん、りつこさん

【第3回事業所対抗ウォーキングラリー
成績上位事業所】 (平均歩数)

第1位	株式会社 オナガメガネ	966,619歩
第2位	吉岡幸 株式会社	832,978歩
第3位	一般財団法人 認知症高齢者医療介護教育センター	814,668歩
第4位	中村運輸 株式会社	729,228歩
第5位	福井埠頭 株式会社	722,410歩 (敬称略)



株式会社オナガメガネの皆さん(右からサンゲンコウさん、カスさん、ココアさん)と副支部長

【令和5年度の具体的施策】

① スマホアプリ「ほやほやウォーク」による事業所対抗ウォーキングラリーの実施
(10月～11月実施)

- ・参加事業所拡大のため加入事業所すべてに広報を行う
- ・文書及び電話による勧奨を実施
- ・第1位の事業所へのインタビュー記事を作成し運動習慣の定着化に向けた広報を実施

② 健康課題に対応した新たなポスターの作成・配布

第4回事業所対抗ウォーキングラリー
(10月1日～11月30日)
令和5年も開催決定

健康づくりポスター 8つのコース、全42種類のポスター



戦略的

13. ジェネリック医薬品の使用促進

【KPI】 ジェネリック医薬品使用割合

令和4年度目標

80.0% 以上

令和4年度実績

80.2%
(R5.2末)

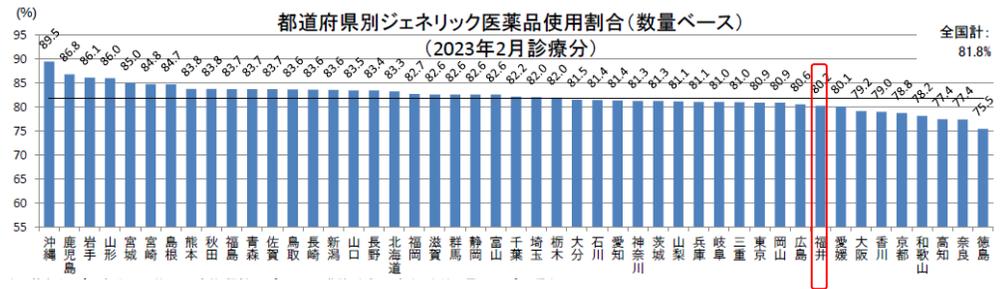


令和5年度目標

80.0% 以上

【令和4年度の実施状況】

- ① 子供と親世代に向けたジェネリック医薬品使用促進リーフレットを作成し、県内全市と連携した広報を実施 9月18,000部送付
- ② 新生児の親を対象としたジェネリック医薬品使用促進・医療費適正化の広報冊子を配付 2,042部送付
- ③ 「医療機関・薬局向け見える化ツール」を作成・配付 729件配付
- ④ ジェネリック医薬品軽減額通知の送付 (8月15,553件、2月13,037件)
- ⑤ ジェネリックの日 (12月22日) に合わせ広報プレスリリース



【令和5年度の具体的施策】

- ① 福井県内全市町「子ども医療担当課」でのリーフレット及び子ども向け希望シールの配布 (拡大) 9月配布予定 リーフレット8,400部 ジェネリック医薬品希望シール 8,900部
- ② 新生児の親を対象としたジェネリック医薬品使用促進・医療費適正化の広報冊子を配付
- ③ 「医療機関・薬局向け見える化ツール」及び「医薬品実績リスト」等を活用しながら影響が大きい医療機関・薬局に対する働きかけを実施
- ④ ジェネリック医薬品軽減額通知の送付 (8月、1月)



14. 費用対効果を踏まえたコスト削減等

【KPI】一般競争入札に占める一者応札案件の割合

令和4年度目標

20%以下または年間
4件以下の場合1件以下

令和4年度実績

33.3%
(1/3)



令和5年度目標

20%以下または年間
4件以下の場合1件以下

【令和4年度の実施状況】

一者応札案件 1件

- ・仕様書を提供した業者（5社）へ入札しなかった理由等のアンケート調査を実施。

[主な理由] 納期が短い。仕様を満たすことができない。

【令和5年度の具体的施策】

一者応札ゼロに向けた取り組みの推進

- ・多くの事業者へ公告内容を周知
- ・十分な公告期間及び履行期間の設定
- ・多くの事業者が参加できるような仕様・内容の検討

契約一覧表（福井支部）

令和5年4月契約

件名又は品目	契約年月日	契約金額	契約方式	納入期限	施行又は 納入場所	相手方住所氏名	備考	応札 業者数	公告日数
令和5年度 健康保険委員だよりの印刷および 封入封緘業務委託	令和5年4月3日	健康保険委員だより 41.5円/部 封筒 23円/部 (税抜額)	一般競争入札	令和6年3月31日	スキット株式会社	福井県福井市高木中央 1-328 スキット株式会社	予定数量 16,000部 予定額 1,135,200円(税込)	3	14
令和5年度 納入告知書チラシ印刷・封入封緘 業務委託	令和5年4月3日	4.90円/枚 (税抜額)	一般競争入札	令和6年3月29日	株式会社大西印刷	福井県鯖江市旭町 2-2-8 株式会社 大西印刷	予定数量 198,770枚 予定額 1,071,370円(税込)	6	16

令和5年6月末時点では一者応札はなし